

モデルコース⑪ ふじいでら半日 南コース (約5km)

藤井寺市観光ボランティアの会

「道明寺駅」をスタート。古代豪族土師氏ゆかりの寺社を巡り、藤井寺市から南へ向かって羽曳野市にある古墳群を歩きます。羽曳野市役所広場では休憩もできます。ゴールは「古市駅」です。



記号 推：世界文化遺産登録推薦書原案（2017. 3）、 距離：スタートからの延距離（施設内を除く）、 トイレ：トイレ

①	道明寺駅  近鉄南大阪線	近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」との間準急で17分。「橿原神宮前駅」との間は時間帯、乗り換えによって異なりますが28分～40分。
② 0.3km	道明寺天満宮 どうみょうじてんまんぐう ・国宝、重文 ・宝物館開館日：正月3が日、1～3月の25日、梅まつり期間中の日土祝日、4月18日、その他は要予約 	 古代の豪族、土師氏の氏神として創建され、のちに一族の子孫である菅原道真公を主神とした天満宮が創建されました。宝物館には国宝の「伝菅公遺品」のほか、多くの文化財が所蔵されています。梅園があり、三ツ塚古墳で出土した「修羅」のレプリカが展示してあります。
③ 0.4km	道明寺 どうみょうじ ・国宝、重文 ・ご開帳日：毎月18、25日 	 国宝「十一面観世音菩薩」をご本尊とする真言宗の尼寺で、7世紀中頃に土師氏の氏寺として創建されました。元は、道明寺天満宮参道付近にありましたが、洪水等で天満宮へ移転、さらに、明治時代の神仏分離令によって現在地に移されました。道真公ゆかりの伝説が多くあります。
④ 0.7km	三ツ塚古墳 みつづかこふん 東から(写真の上から) 八島塚古墳  方墳 50m やしまづかこふん 中山塚古墳  方墳 50m なかやまづかこふん 助太山古墳  方墳 36m すけたやまこふん (長さは一辺)	   仲姫命陵古墳の南側にあり、東西に並んだ三基の方墳の総称です。三基は周濠を共有して、南辺を揃えるめずらしい形をしています。八島塚と中山塚の間の濠底部から昭和53年(1978)大小の修羅と呼ばれる木ぞりが出土し、大きな話題になりました。
⑤ 1.1km	古室山古墳  こむろやまこふん 前方後円墳 墳丘長 150m	 古市古墳群形成期の4世紀後半に築造され、古市古墳群のなかでは、皇陵関係以外としては最大級の大きさで、墳頂に登ることができます。生駒、葛城山系、大阪阿部野あたりまで眺望でき、季節によって梅や桜が楽しめ、市民の憩いの場となっています。
⑥ 1.2km	赤面山古墳 せきめんやまこふん 方墳 一辺22m	 西名阪自動車道の高架下にポツンと佇んでいる小さな古墳です。古墳を保存するため、昭和40年代の自動車道路建設の際に特別な工事が行われました。どのような工夫がされたのでしょうか。

<p>⑦</p> <p>1.4km</p>	<p>大鳥塚古墳 推</p> <p>おおとりづかこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 110m</p>		<p>一重の濠を有し、前方部は2段、後円部は3段に築成されています。後円部が前方部より6mも高く、墳丘に登ってみると、高低差を実感することができます。5世紀前半の特徴的な前方後円墳の姿がよくわかる古墳です。</p>
<p>⑧</p> <p>1.5km</p>	<p>誉田丸山古墳 推</p> <p>こんだまるやまこふん</p> <p>円墳 径 50m</p>		<p>応神天皇陵古墳の北側にあり、江戸時代、副葬品と伝わる「金銅製龍文透彫鞍金具」が出土しました。我が国最古のもので、国宝に指定され、誉田八幡宮に所蔵されています。</p>
<p>⑨</p> <p>1.5km</p>	<p>応神天皇陵古墳 推</p> <p>おうじんてんのうりょうこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 425m</p>		<p>墳丘長は仁徳天皇陵古墳に次いで日本第2位、体積は日本第1位の規模。前方部の北西側が崩落している以外は築造当時の姿がよく保たれています。5世紀前半の築造で、西側外堤を歩くとその大きさを体感することができます。</p>
<p>⑩</p> <p>2.1km</p>	<p>応神天皇陵古墳外堤</p> <p>おうじんてんのうりょうこふんがいてい</p>		<p>応神天皇陵古墳の墳丘の周囲には2重の濠と堤が巡らされています。西側の外濠と堤を歩くことができ、巨大な前方後円墳の濠や堤、陪塚などの外周施設が発達している様子がよくわかります。季節によって菜の花、コスモスの花畑が楽しめます。</p>
<p>⑪</p> <p>2.9km</p>	<p>羽曳野市役所 トイレ</p> <p>トイレ 9:00~16:00、日曜日 日は使用不可。</p>	<p>庁舎前の広場にはベンチやトイレも備わっていて、休憩することができます。</p>	
<p>⑫</p> <p>3.0km</p>	<p>向墓山古墳 推</p> <p>むこうはかやまこふん</p> <p>方墳 一辺 68m</p> <p>羽曳野市文化財展示室 開館時間:10~16時 休館日:土、日、祝、年末年始 不在時は市役所に連絡</p>		<p>堤の西縁には墓山古墳の外堤を結ぶ「土橋」が設けられており、墓山古墳との密接な関係が考えられています。見学通路からは古墳の築成状況を間近に見ることができます。展示室では、めずらしい埴輪などが展示されています。</p>
<p>⑬</p> <p>3.0km</p>	<p>墓山古墳 推</p> <p>はかやまこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 225m</p>		<p>周囲は深い濠(ほり)と幅の広い堤がめぐっています。5世紀前半の築造で、後円部頂に格子目を刻んだ亀山石製の石棺の蓋石が露出していた、と伝わっています。周辺には4基の陪塚が存在し、この古墳は大王クラスだと考えられています。</p>
<p>⑭</p> <p>3.2km</p>	<p>野中古墳 推</p> <p>のなかこふん</p> <p>方墳 一辺 37m</p>		<p>墳頂部からは、5列の木箱に収められた11領の甲冑、鉄製品。周濠部からは4万点を超える滑石(かっせき)製模造品が出土しています。5世紀中頃から後半の築造。この時代を読み解く貴重な情報源として注目されています。</p>

<p>⑮</p> <p>3.7km</p>	<p>浄元寺山古墳 推</p> <p>じょうがんじやまこふん</p> <p>方墳 一辺 67m</p>		<p>墓山古墳の前方部西側の外堤に接しており、墳丘の南北方向の主軸線は墓山古墳の外堤にほぼ平行して造られています。墓山古墳との密接な関係があると考えられています。近くで見ると、墳丘が二段に築かれているのがよくわかります。</p>
<p>⑯</p> <p>4.3km</p>	<p>白鳥陵古墳 推</p> <p>はくちょうりょうこふん</p> <p>前方後円墳 墳丘長 200m</p>		<p>後円部より前方部が高く、広いという古市古墳群の後期の特徴的な墳形で、濠は満々と水を貯えており、竹内街道からは優美な墳丘を眺めることができます。古代史の伝説のヒーロー日本武尊の陵墓と定められています。</p>
<p>⑰</p> <p>4.9km</p>	<p>古市駅 推</p> <p>近鉄南大阪線</p>	<p>近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」との間急行で16分。「橿原神宮前駅」との間は時間帯、乗り換えによって異なりますが21分～34分。構内に売店があります。</p>	